

水位センサ IC タグの防災への応用と可能性 Application and possibility to the disaster prevention of the water level sensor IC tags

齋藤 修^{1*}, 桑原 祐史²

Osamu Saitou^{1*}, Yuji Kuwabara²

¹ 茨城大学工学部防災セキュリティ教育研究センター, ² 茨城大学広域水圏環境科教育研究センター

¹Center for Disaster Prevention and Security, IBARAKI University, ²Center for Water Environment Studies, IBARAKI University

住民の安全を守る防災の観点から環境情報の可視化は重要である。小型で低価格なセンサ IC タグ等を利用し、たとえば多点で水位センサを配置すれば内水氾濫や河川増水の監視や避難情報の発令に有効である。茨城大学工学部では2012年7月から日立市内に水位センサを取り付け内水氾濫監視システムを実験的に立ち上げ、降雨時の水位をリアルタイム監視している。このシステムを応用すれば、東日本大震災で震災を受け、地盤沈下による冠水等の被害が現在でも残る東北太平洋沿岸地域の海水面の水位監視が可能である。

キーワード: センサ IC タグ, センサーネットワーク, 水位センサ

Keywords: sensor IC tag, sensor network, water level sensor